

ガラスフィルムの貼り方

- 対象 1) 透明平板ガラスなど表面が平滑なガラスに貼ります。
(網入りガラスでも表面が平滑であれば貼れます。凹凸がある場合は貼れません)
2) 室内側に貼ります。(外から貼る場合には外貼り専用のフィルムをご使用ください)
(簡易タイプ・・・ A3版防犯フィルム等クレセント周辺に貼る”簡易タイプ”も貼り方は同じです。)

！ フィルムの厚さにご注意下さい
フィルムの厚さにより
ポイントが異なります

スキージーを使用する時の水抜きの方の入れ方は
“しっかりといていねいに 厚いフィルムは力をいれて”です。

防犯フィルム 防犯・遮熱コンビ 貫通防止フィルム	フィルムの総厚 100ミクロン以上 350ミクロン程度	フィルムを貼る時の水抜きがポイント。適度な力が要ります。 水や空気が残ったら数時間以内に再度スキージー掛けを行ってください。 (プロは2度手間をさけるため念入りに仕上げます。)
--------------------------------	-----------------------------------	--

日射調整フィルム 装飾・プライバシーフィルム	フィルムの総厚 25ミクロン以上 100ミクロン未満	フィルムが薄い分折れ目が出来やすいので注意してください。 水抜きは容易です。力はあまり要りません。 スキージーの角で傷をつけないように注意しましょう。
---------------------------	----------------------------------	---

用意するもの

あると便利なもの	用途
スプレー入洗浄液(水と中性洗剤)	中性洗剤を1/100～1/500に水で薄めたものをスプレー(霧吹き)容器に入れる
スクレーパー	幅100ミリ位の薄い刃物 ガラス面のこびり付除去用
ゴムヘラ	洗浄の水切り・仕上げ用 ホームセンターなどで購入できます
施工液スプレー(霧吹き)用 空のペットボトル	国産市販の飲料水ペットボトル(500cc) 空き容器1本
セロテープ	リリース(糊保護)フィルムをはがすときに便利です
キッチンペーパー(1ロール以上)	洗浄液や施工液の拭き取りにキッチンペーパーが便利 多量に用意してください タオルなどは繊維のケバがガラスに付着しますので厳禁です

フィルムに同梱されているもの	用途
白スキージー	水切り・フィルム貼り付け時の水抜きに使用します
施工液ミニボトル	ペットボトル(500cc)の水に対してミニボトル1本を使用 たっぷり使用してください 少ないと上手く滑らず位置合わせがしにくくなります

必要なものを揃えたらよいよ作業開始です
汚れても良い服装で行いましょう



施工手順— ガラスの洗浄

施工液をたっぷり使います。カーテン、家具調度品など漏れないようにタオル・布などで周囲の養生をしましょう。
特に下部には水が落ちますのでしっかり養生してください。エアコンも止めて空気中にダストが舞わないようにします。

ガラスの洗浄が最重要です。

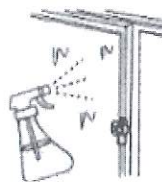
ガラス面に洗浄液をスプレーして
スポンジタワシなどで表面を洗います。

頑固な汚れは少し時間をおいて
スクレーパー等でこびりつきを取ります。

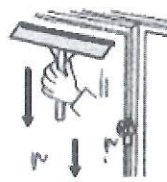
最後はゴムへらできれいに仕上げます。
窓枠・ブレード(ゴムパッキン)も
きれいにしましょう。

ここに汚れが残っていると
フィルム貼り付け時に染み出して
仕上がりに影響してしまいます。

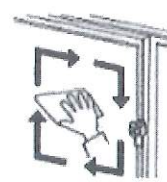
ガラス面(室内側)をキレイにします。



水溶液を
吹き付けます。



汚れを
取り除きます。



窓枠の汚れは
ペーパータオルで
取り除きます。

ガラス洗浄後の仕上げ

洗浄液は残っていると滑りすぎ・濁りの原因になります。施工液をスプレーして再度ガラスをきれいにしてください。
ゴムヘラ又はスキージーを使用して水分を切ります。一定方向(上から下へ)に除去するのがコツです。

窓枠の水に汚れが溜まっていない様キッチンペーパーでふき取ります。(特に木製の場合は丁寧に)

窓枠・ブレード(ゴムパッキン)に汚れが残っていると、フィルムを貼った時にガラスとフィルムの間に汚れが入りこんでしまう場合があります。

ガラスの洗浄回数が多いほど、仕上がりが綺麗になります。

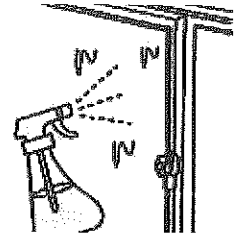
施工手順 - 貼付本番



施工直前のご注意

- ! ガラス面にダストや動物の毛などが付着していないことを再度確認してください。
- ! 施工前に、施工場所の空間及び施工者の被服に施工液をスプレーしてください。静電気によるダストを抑えます。

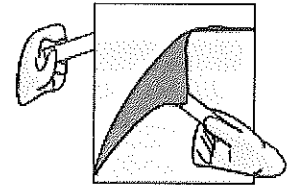
1. 貼る直前に再びガラス面に施工液をまんべんなくしたたり落ちるくらいたっぷりと吹き付けます。
(夏場は液が蒸発しやすいので施工液を濃い目にします)



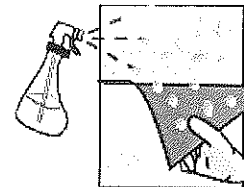
作業のコツ

◆リリースフィルムをはがす際、指先にも施工液をスプレーしてください。接着面にさわっても指紋が残らなくなります。

- ◆リリースフィルムをはがす際、セロテープを使用するとリリースフィルムがはがしやすくなります。

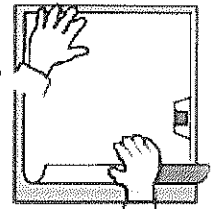


- ◆リリースフィルムをはがす際、はがしながら接着面にも施工液をたっぷりとスプレーしてください。静電気によりダストの付着を防ぎます。



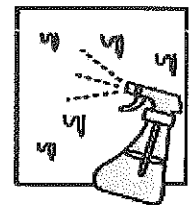
- ◆薄いフィルムはしわにならないよう気をつけましょう。

2. 位置決めを行います。水に浮いているフィルムを移動させる感覚です。全面貼りの場合は、端部分片側2mm位あけます。水抜きを容易にするためです。施工液が少ないと動きません。こんなに?と思うほどたっぷり使ってください。フィルムが動かない場合はフィルムをめくって再度施工液をスプレーしてください。カギの部分は横からフィルムをすべりこませるように差し込みます。



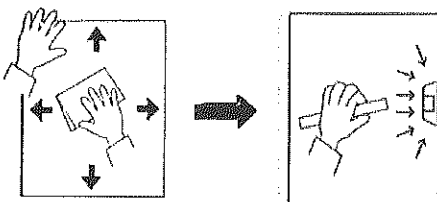
3. 位置が決まったらフィルム上部をスキージーで軽く圧着し、中央部も縦長に一押さえるとフィルムが動かなくなります。

フィルム表面に施工液を吹き付けます。
スキージーで軽く水抜きを行います。



4. スキージー掛け本番  最重要部分です

上から下へ、中央から外へ、中の空気と水を念入りに押し出します。感圧接着剤を使っていますので、多少力を入れて数回押し出してください。特にフィルムの端部分は念入りに。鍵受け部分の圧着がやりにくい場合は何か薄いもの(定規など)を利用してください。



- ★念入りに水抜きを行っても、数時間後に水玉が見えることがあります。すぐに施工液をスプレーする事と水抜きを繰り返してください。周囲の水分が乾いてからでは抜けにくくなります。小さな水玉は放置してください。夏場で約1ヶ月、冬場で約3ヶ月くらいで抜けていきます。

これで完成です。お疲れ様でした。

株式会社サイバーレップス

貼り方URL: <http://www.cyber-reps.com/harikata/>